

横浜市港南区役所 御中

港南区民文化センター

平成27年度事業計画書

平成27年1月30日

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

文化事業の根幹である3事業【鑑賞/地域文化活動支援/情報・相談・交流】を通して、区民文化の啓蒙、育成、創造を図り、区民協働意識の醸成と共に、文化活動を基点にした地域コミュニティの構築、活性化を図って参ります。貸館事業は、上記3事業の理念を補完する事業と位置づけ、取り組んで参ります。

私共は、京急沿線各所で実施した再開発事業での街づくりの実績を元に、京急グループの流通、サービス、広告等の各社が連携し、港南区民文化創造に向けて尽力致します。

(1) 文化活動のための施設の利用について

1 自主管理

- (1) 区分施設は区民共有の資産であり、未永くその価値を維持管理することが求められます。管理者による日常的な保守管理によるばかりでなく利用者の保守管理意識の醸成による自主管理の仕組みを構築し、利用者として区文運営へ参加協力頂きます。
- (2) 各施設毎の終了時に行う整理整頓基準を具体的に写真等で明示し、誰でも一定レベルの状態に回復出来る施策を実施いたします。
- (3) 利用者との連携で施設の不具合を早期発見改善する仕組みとして、全ての利用機会毎にサービス評価、施設評価を含む意見記入出来る報告簿を設置し、改善に反映いたします。

2 専門集団による助言

- (1) 当グループには制作、舞台、照明、音響、映像、広報等専門スタッフが常勤配置されており、利用者への助言、提案を行ってまいります。
- (2) 舞台技術者は、長年にわたる美術製作、照明プランナー、音響デザイナー、各オペレーションでの実績、経験を元に、利用者への技術指導、助言を行い、安全で満足度の高い舞台表現を支援いたします。
- (3) 国体開会式をはじめとする各種事業制作の経験豊かなブレンと共に、アートマネジメントの助言提案により制作業務の支援を行って参ります。

3 共催・活動者育成

- (1) 発表の場、機会の少ない若手アーティスト、ハンディキャッパーを積極的に発掘し、発表の場を提供する共催事業により育成、支援を行って参ります。
- (2) 上記施設提供により、低コストで区民に鑑賞の機会を提供し、発表者、鑑賞者相互に文化を享受し、啓発・育成する機会を創出します。
- (3) 区文事業計画と主旨を一にする地域の事業企画と連携し、共催事業として施設提供を行い、低コストで区民に鑑賞の機会を提供致します。

4 優先予約

企画担当職員及びブレンで構成される事業企画審査会において、下記の条件に該当する事業を優先予約対象事業として認定し、活動を支援して参ります。

- (1) 設置者をはじめとする行政諸機関の事業。
- (2) 区文事業計画、事業主旨に合致し、協働で事業推進可能と共催認定された事業。
- (3) 区文の広報宣伝に資する価値の見いだされる事業。

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

(2) 文化活動に関する情報の提供について

情報提供そして情報による交流は、啓蒙、育成、創造、そして文化活動を通してのまちづくりの土台となる事業と捉え、以下の3つの視点より取り組んで参ります。

1 イベントはパブリシティに始まり、パブリシティに終わる

- (1) 事前広報による集客、イベント認知を図り、事後広報によって、成果を問い非来場者への来場意識を喚起・醸成いたします。
- (2) 情報発信は域内、区内、市内、市外とその発信エリアによって形態が異なります。域内では、区文内情報コーナー、区内では、区報、区役所、区外では、各区文化施設、市内では、市広報誌、市役所、市外では、京急電鉄沿線、駅貼り、バスターミナルを想定しております。これら関連諸機関と連携、連動を図り、ひまわり通信、HP、DM、メールマガジン、アドTV、京急沿線広報紙なぎさ、京急百貨店オカス通信を活用し情報発信して参ります。
- (3) まちづくりの観点より、区民の情報発信スペースを区文情報コーナーに限定せず、**バスターミナルアドボード・京急上大岡駅内ひまわりアドボード**を活用し、幅広い域内来街者へ発信するサービスを提供致します。来街者の水平導線と待機時間に直接働きかけ、区文活用目的外の方々へ区文認知と新規利用者の拡充、文化団体の活動支援の一環として、パブリシティ支援を行います。
- (4) 地域密着メディアであるJCNよこはまと連携を図り、事業取材を積極的に依頼・協力し、紙・WEB媒体に加えTV媒体で区文情報を発信して参ります。

【京急グループ共同企業体の提供する情報ツール】



京急上大岡駅構内専用アドボード



バスターミナル内専用アドボード



施設内アドTV



Wing 上大岡内アドボード



区文行き先案内



京急グループ広報紙なぎさ



施設内照式ポスターケース

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

2 情報ネットワーク

- (1) 文化という資産が集積し、人が集い、情報が行き交う、自由闊達な空間作りを目指します。
- (2) 区文の役割として、活動団体に各種公演情報の提供、活動に関連する素材、技術、仕入方法などの情報提供を行って参ります。
- (3) 地域文化人的資産の情報提供・活用の仕組みを構築してまいります。
域内の港南区民活動支援センターとの連携による【街のアドバイザー】の閲覧、検索システムを構築し情報コーナーにおいて利用して頂きます。また登録事務援助も併せて推進し、地域資産の活用と交流を支援して参ります。
- (4) **アドTV**において、活動団体の情報コーナーを動画で展開いたします。
事業情報の広報媒体であるアドTVに掲載希望の活動団体の事業情報・会員募集など団体広報の媒体として活用して頂き、交流の場として頂きます。
また、区文からのお知らせ、休館情報など、喫緊の情報を動画による訴求力で広報いたします。

アドTV
当グループ構成団体の通常業務ではスペック落ちとなったPCをリユースし、動画音声付き素材をエンドレスで放映するオリジナル情報ツール。
従前の動画媒体は、DVDでの月1回の定期配信のため、終了事業や完了情報を削除出来ない不具合を改良し、平成21年度、個別事業案内毎に配信するシステムとし導入いたしました。
素材作成の仕組みも常勤職員で可能な体制とし、完全内製化による負担0を実現しました。
このことにより、情報提供の迅速化、活動団体への開放も可能となりました。
運用上、無制限の受付は長時間の視聴を強いる事が想定され、情報価値維持のために料金徴収などの施策を検討中。

3 情報提供のユニバーサルデザイン（バリアフリー化）

近年の情報化社会推進の流れの中で、情報格差の拡大が顕著となっております。
高齢者と情報機器を持たない方々への対応が私達の目指すユニバーサルサービスへの大きな課題と考えます。
港南区においても高齢化が進む中、今暫くは高齢者の情報格差の解消は不可能と考えます。
私達は、以下の視点から課題の解決に当たり均一な情報提供を行って参ります。

- IT環境で提供された情報の普遍化
- ストレスのない情報を提供する
- 職員の支援によるバリアフリー化

○実施施策

- (1) IT使用環境を有しないお客様向けに、紙媒体を使用したインフォメーションを行います。
- (2) 高齢者向けに、使用文字のポイント数を大きくし、かつ平易な表現を心がけます。
- (3) アドTVを使用し、HP上の情報を提供します。
- (4) IT関連機器の啓蒙・教育を行い、利用促進を図って参ります。
- (5) IT機器の使用支援、補助を行い、高度な使用環境を提供いたします。
- (6) 聴覚障がい者向けに、筆談ボードを常備し、対応して参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

(3) 文化活動者への相談・支援策

区民文化の啓蒙・育成の視点から、区文文化事業の優先事業は、地域文化活動の支援事業であると考えます。
活動の支援は、発表の場を提供すると共に、啓蒙、育成、創造を通して、港南文化の発展に寄与して参ります。
特に、育成事業に於いては中長期にわたる継続性と、ステップアップの発展性を重視し、事業の連続性が途絶える事の無いよう配慮致します。

私達は以下の3つの視点より活動支援を行って参ります。

1 育成・創造

- (1) 地域活動団体の育成
発足間もない団体への助言、制作手法の伝授や、舞台技術の研修、レベルアップを図るワークショップを開催し、育成の一助と致します。将来的には、区文利用団体の舞台技術の自主操作を目指し、リハーサル使用時の、運営負担軽減を図って参ります。
- (2) 次世代の育成
上記育成事業とは別に、中高校文化団体を対象にした事業展開により、展示・公演手法の紹介、舞台知識の啓蒙を図り、区文活動参画の足掛かりとし、中高生の組織化による、港南文化の次世代の担い手を発掘、育成して参ります。
- (3) 区民文化の創造
平成22年度より開始した【区民オペラ】を継続的段階的に発展させてまいります。また平成18年度より開始した【KOUNAN STREET DANCE CONTEST (KSDC)】は、高校生主体運営事業として、出場者は区内はもとより神奈川県全域の高校に広がり、実行委員数4校40名、参加応募校数64校にまで拡大認知され、入賞チームは地域イベントへの出演、Y150への港南区代表としての出演など地域での認知も進み、港南区固有の文化として成熟の端緒に付こうとしております。これら事業はもとより他事業においても積極的に提案、教育、啓蒙を行い、区民、行政、地域協働により港南区固有の文化を創造して参ります。長期的には、新しい世代に受け渡す事業と捉え、区文はその中核組織として、支援事業の中心に位置づけ、他の2事業と連携した、文化事業の成果として事業構築して参ります。



KSDC 発表風景



KSDC 実行委員会会議



KSDC 高校生ポスターコンテスト

2 共催

- (1) 地域行事との連携
区民生活に密着した地域行事との連携により、より身近に区文の存在を位置づける事が出来ます。
事業実施のタイミングを地域行事・周辺商圏との連携を図る事により地域活性化に寄与します。
特に地域団体において実施されている同種事業（寄席等）においては共催により区民ニーズに応えてまいります。
- (2) 地域事業への参画
地域事業への共催参画・専門スタッフの技術協力・出演協力等により、地域活動者への支援を行って参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

3 ひまわりコンシェルジュ

文化活動の遂行には様々な課題があり施設毎に解決策も変化いたします。
 私達は、区文施設の専門家、事業制作のプロ集団として利用者の創造力を限りなく100%に近づけるための助言、制作支援、技術支援を【コストの掛からないサービスは限りなく提供！】をモットーに【文化の事なら区文に！】と言われるサービスを目指します。
 また、私共の技術機器を貸出備品として用意し低価格で提供いたします。

(4) 文化事業の企画

1 多様な文化の紹介

- (1) 洋の東西、時代を問わず、様々な表現活動を紹介して参ります。
対象事業【オアシスコンサート・その他の事業・ひまわり紀行・45シアター】
- (2) 日本文化の伝承は、国際交流に於ける日本人のアイデンティティ確立に必須と考えます。
 日本の古典芸能を身近に体験する機会が失われつつあり、鑑賞事業を通して、その魅力を認知する企画構成を図ります。
対象事業【ひまわり紀行】
- (3) 『ひまわりの郷』施設の利用の可能性を提案する事業により、時代と共に変遷する文化の紹介を通して、地域活動支援事業の一環と致します。
対象事業【全ての事業】
- (4) 上記、企画採用の基準は、ホール音響特性や、客席構造を活かした空間とのコラボレーションなど、『ひまわりの郷』の魅力、可能性を引き出す物を対象とします。

2 ターゲット別事業

- ユニバーサルサービス提供方針の下、より多くの方々に、利用の機会、場を提供するターゲット別事業を展開して参ります。
- (1) **子育て世帯向け事業**：子育て世代が、気兼ね無く楽しみ・子ども達の鑑賞教育となり、成人の鑑賞にも堪えるクラシック中心の企画。
対象事業【Welcome KIDS】
 - (2) **障がい者向け事業**：障がい者に発表の場・鑑賞の機会を提供する企画。聴覚障がい者向け体感音響システムの導入を図り支援いたします。
対象事業【手話ミュージカル・シネオペラ・障がい者地域作業所作品発表会】
 - (3) **高校生向け事業**：高校生が企画・運営・創造する港南区固有のプログラム。アートから舞台表現までジャンルは多岐にわたり約10ヶ月の長期事業を区文が事務局として支援する企画。
対象事業【KOUNAN STREET DANCE CONTEST】
 - (4) **幼児向け教育事業**：鑑賞し、自らも体験するワークショップ型事業。幼児を中心に鑑賞マナー教育と創造の楽しさを感じ取って頂きます。
対象事業【45シアター】
 - (5) **高齢者向け事業**：高齢化が進む地域情勢を考慮し、行動半径の狭小化に伴う鑑賞機会の減少を補います。オペラ映画の上映は、他とはひと味違う音響効果の良い区文ならではの鑑賞環境となります。
対象事業【シネオペラ・アウトリーチ】
 - (6) **成熟した鑑賞者向け事業**：ユニバーサルサービス効果を具現する事業の一つと言えます。低価格で良質なプログラムを提供する仕組みを、事業協賛、他館との提携による助成事業化、京急グループナレッジ等を活用して構築してまいります。
対象事業【オアシスコンサート】

団体名

京急グループ共同企業体

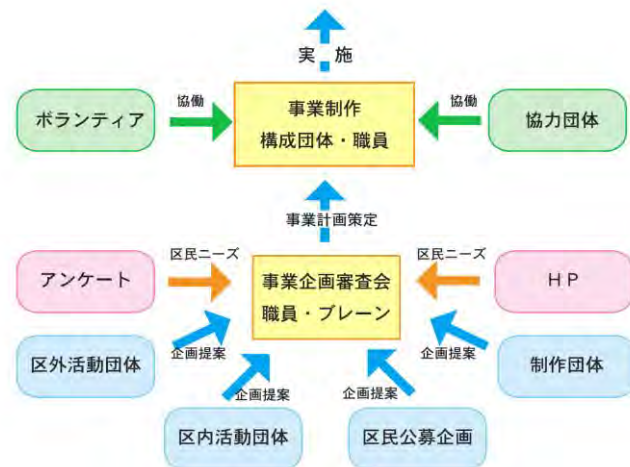
文化事業の概要と取組み方

3 区民ニーズの抽出

- 新規住宅の増加や商業施設の新設に伴い街が大きく変容を遂げている上大岡においては、区民ニーズの多様化が予想されます。以下の施策により区民ニーズの的確な抽出を図って参ります。
- (1) 個別事業毎のアンケート実施と回収率の向上を図り、ニーズを抽出分析し、事業企画に反映して参ります。
 - (2) 新来街者対策として域内教育施設にアンケートをアウトリーチし、区文未利用者へ対象を広げニーズを抽出して参ります。
 - (3) HP機能を拡充し、区民ニーズの抽出を図ります。

4 実施体制

区民による企画提案・外部団体からの企画提案など多様な視点からの提案を、区文職員・プレーンが専門的立場から助言・支援・再構成し、港南区固有の事業企画を作り上げて参ります。
 また、事業制作においては、構成団体による、制作、広報など事業の内製化を高め、コスト削減を図って参ります。



5 事業計画

- (1) 前年度末の運営協議会に於いて、年度事業計画方針を提示し承認を受けます。
- (2) 区民公募・外部応募企画は前年7月に取りまとめ、事業企画審査会で事業計画方針に従い審査検討し、9月に次年度上半期計画を策定します。順次12月までに次年度下半期計画を策定し、年次計画を決定します。
- (3) 年次計画の決定を受け、利用抽選の行われる6ヶ月前迄に、個別事業の概要を決定し、日程調整を行います。(4月度事業は、前年9月中旬に確定)
- (4) 3ヶ月前の11日よりチケット発売を開始。
- (5) チケット発売1ヶ月前より各種媒体(区報・なぎさ・オカス通信・ポスター・チラシ・アドTV) 広報開始。
- (6) DM 発信・メルマガ配信。

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の概要と取組み方

(5) その他事業の事業概要と実施方針

1 地域コミュニティの活性化

首都圏住民の生活圏は、交通網、通信網の発展拡充と共に、区内に留まらず大きな広がりを見せています。一方では、地域への帰属性が薄く、地域コミュニティ活動の沈滞化、高齢化が言われています。教育機関単位では、PTA、おやじの会などが組織され、子弟教育への取組みが成されていますが、継続性が無く期間限定のコミュニティとなっております。区文活動の中で文化をキーワードにし、以下の3つの視点より、地域コミュニティ活性化を図り、街づくりの一助といたします。

1. 世代を超えた連携

(1) 運営協議会など区文組織をベースに、幅広い世代が交流し、連携を図り地域コミュニティ参画の端緒とします。

2. 個人ボランティア育成

(1) 高齢化社会の到来と共に、人生の第2ステージのあり方が問われています。地域への参画を意図されている方々を対象に事業制作への参加を公募し、ボランティアスタッフを育成します。
(2) 地域の隠れた技能者、経験者の発掘、資源化を図り、アウトリーチへの活用を目指します。

3. 地域商圏・企業との連携

(1) 地域商圏との連携、協働により、街づくりへの提言、ニーズの取得が可能となり、健全な地域の発展に寄与する基盤作りを可能とします。

2 アウトリーチ

- (1) 区文認知と文化啓蒙を第1義に、青少年をターゲットにした学校関係へのアウトリーチを長期計画で実施して参ります。特に若年世代への働きかけは、協働参画意識向上の一助と考えます。
(2) 高齢化の進捗への対応は、まちづくりの観点からも重要な課題であり、区文はまちづくり拠点施設としての存在感を発揮し、文化の側面から移動キャパシティの減少した高齢者への支援を高齢者施設への出張公演から始めて参ります。
(2) 施設利用文化団体、利用希望団体への技術指導、団体運営助言を積極的に行い、協働で地域施設へのアウトリーチ活動を展開して参ります。
(3) 中高校での文化部活動を積極的に支援し、青少年の文化レベルの向上を図ります。
(4) 区文活動への自主的参画機運を醸成し、次代の区文事業を担う人材の育成を図るとともに、長期的には、個別事業全体を自主制作する組織作りを目指して参ります。

3 評価組織

行政機関による第三者評価とは別に、内部機関による監査を実施し、提案・計画書の進捗・方向性を監視し、是正して参ります。

- (1) 運営協議会総会の承認により事業を推進して参ります。
(2) グループ構成会社で組織された監査機関による事業評価と監視を実施します。

団体名

京急グループ共同企業体

指定期間（平成 23 年度から平成 27 年度まで）に実施する文化事業の概要と取組み

指定期間の文化事業の実施方針

実施方針

- 【1】継承と伝承
開館以来培われた事業成果を継承し、文化の伝承と発展創造を基軸とします。
- 【2】継続と発展
若年者育成に代表される、新しい層の取り込み育成のために、育成プログラムを作成し、年度ごとに反復継続し、ステップアップに対応する発展プログラムと共に、中長期にわたる事業展開を図ります。
- 【3】感動と創造
受け手として、送り手としての感動を享受し、創造の喜びを体感できる事業展開を図ります。
- 【4】コスト削減
事業制作の内製化を高度に実施し、制作コストの削減を図ります。
- 【5】ファンドレイジング
資金のみならずサービス、器物提供によるファンドレイジングを積極的に導入します。

平成 23 年度 協働元年

- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施（KSDC・区民オペラ他）
- ・区内文化資産のデータベース化作業
- ・地域、商業施設、企業との連携調整開始（ALL 上大岡計画）
- ・区民参画推進（ボランティアスタッフ組織化）

平成 24 年度 十五周年

- ・開館十五周年記念事業として年間プログラムを展開
- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・区内文化資産のデータベース情報コーナーに開設
- ・区民参画推進

平成 25 年度 ALL 上大岡

- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・過去事業のデータベース化作業
- ・地域、商業施設、企業との連携・運営組織化（ALL 上大岡計画）
- ・区民参画推進

平成 26 年度 アウトリーチ

- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・地域・学校への活動展開
- ・区内文化資産のデータベース情報コーナーに開設
- ・区民参画推進

平成 27 年度 拠点化

- ・地域一体化プログラム・継続事業の実施
- ・地域・学校への活動展開
- ・文化団体の拠点、地域の文化情報拠点化
- ・区民参画推進

団体名

京急グループ共同企業体

指定期間（平成 23 年度から平成 27 年度まで）に実施する文化事業の概要と取組み

指定期間の文化事業の概要

平成 23 年度 協働元年

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサート 6 回・ひまわり紀行（日本文化伝承）2 回・その他 4 回
- ・welcome Kids（ファミリーコンサート）年 6 回 偶数月
- ・4.5 シアター（音楽ルーム）年 6 回奇数月
- ・区民参画協働事業／こどもミーツオーケストラ・器楽ワークショップ発表会・区民オペラ・KSDC
- ・区内文化資源の調査発掘／周辺関連団体企業との連携組織整備（ALL 上大岡計画）
- ・ボランティアスタッフの公募／研修／組織化（以降通年化）
- ・アドボード活用推進（以降通年化）

平成 24 年度 開館十五周年

- ・開館十五周年事業として年間プログラムを展開する。
- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサート 6 回・ひまわり紀行（日本文化伝承）2 回・その他 4 回
- ・welcome Kids（ファミリーコンサート）年 6 回 偶数月
- ・4.5 シアター（音楽ルーム）年 6 回奇数月
- ・区民参画協働事業／前年を継続し、区民オペラ・KSDC は十五周年の節目として発展拡大し企画
- ・区内文化資源の調査発掘データベース公開／周辺関連団体企業との連携組織整備
- ・アドボード活用推進

平成 25 年度 ALL 上大岡

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサート 6 回・ひまわり紀行（日本文化伝承）2 回・その他 4 回
- ・welcome Kids（ファミリーコンサート）年 6 回 偶数月
- ・4.5 シアター（音楽ルーム）年 6 回奇数月
- ・区民参画協働事業／こどもミーツオーケストラ・器楽ワークショップ発表会・区民オペラ・KSDC
- ・過去事業データベース化作業／周辺関連団体企業との連携組織整備及び事業企画（ALL 上大岡）
- ・アドボード活用推進

平成 26 年度 アウトリーチ

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサート 6 回・ひまわり紀行（日本文化伝承）2 回・その他 4 回
- ・welcome Kids（ファミリーコンサート）年 6 回 偶数月
- ・4.5 シアター（音楽ルーム）年 6 回奇数月
- ・区民参画協働事業／こどもミーツオーケストラ・器楽ワークショップ発表会・区民オペラ・KSDC
- ・過去事業データベース公開／周辺関連団体企業との連携及び事業企画
- ・教育関係へのアウトリーチを強化
- ・アドボード活用推進

平成 27 年度 拠点化

- ・ホール鑑賞事業／オアシスコンサート 6 回・ひまわり紀行（日本文化伝承）2 回・その他 4 回
- ・welcome Kids（ファミリーコンサート）年 6 回 偶数月
- ・4.5 シアター（音楽ルーム）年 6 回奇数月
- ・区民参画協働事業／こどもミーツオーケストラ・器楽ワークショップ発表会・区民オペラ・KSDC
- ・情報コーナーの充実／周辺関連団体企業との連携及び事業企画
- ・アドボード活用推進

団体名

京急グループ共同企業体

文化事業の具体的な企画提案

【平成 27 年度文化事業の考え方】

オアシスコンサート／年 8 回 春 4 回・秋 4 回のシリーズ企画

- 1) 成熟したクラシック鑑賞者向けの事業。
- 2) 地域団体との協働で、良質な低価格なプログラムを提供。
- 3) 事業コストを最小限に抑え、安定的な収入による健全な収支バランスを得る。

WelcomeKids／年 6 回 偶数月（時期の固定化による集客施策）

- 1) ファミリー向け、教育、啓蒙、鑑賞事業。
- 2) 子育てによりコンサートから遠ざかった保護者に【お互い様】の心で楽しんで頂くプログラム。
- 3) こども達に鑑賞マナーを植え付けるため、レセプションも大人と同等のサービスを提供し、他のお客様に迷惑が掛かる場合は、一旦退場し、ロビー、親子室にて鑑賞し、落ち着いたら再入場する。
- 4) こどもの集中出来る時間を考慮したプログラム構成を図る。

4.5 シアター／年 6 回 奇数月（時期の固定化による集客施策）

- 1) 幼少児、成人向けワークショップ型事業。
- 2) カーペット敷設により音楽ルームを多目的使用可能な空間にし、啓蒙・体験により創造の喜びを提供。

その他鑑賞事業及びアウトリーチ

- 1) **KSDC**：高校生実行委員会運営によるダンスコンテスト／ポスターデザインを高校生より公募しコンテスト基準、演出、運営を 10 ヶ月掛けて制作。美術、放送、写真、ダンスなど文化の幅広いジャンルからの参加により実施。
10 回目を迎える今年度は、記念大会と位置付けて地域と連動した事業拡大を図る。また小中学生部門の更なる充実を図り、中学において正課とされたダンス教育への支援事業としても充実を図る。
趣旨に賛同した企業協賛を得て事業費の低減を図る。また、助成等を得て更なる効率化を図る。
- 2) **区民オペラ**：横浜オペラ協会との協働事業。区民愛好家を公募し、10 回のワークショップを経て公演を実施。将来的には、本格公演を目指し継続発展。
- 3) **手話ミュージカル**：手話団体との共催事業。区民公募によるワークショップを経て公演に参加。事業を通して障がい者との交流、共生を企図する。
- 4) **アウトリーチ**：高齢者養護施設に出前公演を中心に継続拡充して展開。
さらに、港南公会堂への技術者派遣をはじめ地域文化施設へのアウトリーチ事業を拡充し、地域文化拠点としての位置付けを明確にする。港南公会堂との連携を強化し港南区における文化発展に寄与して参ります。

情報・交流

- 1) **広報宣伝**：当グループ提供の各種ツールを活用し、多面的に展開。アド TV を使用した区文からのご案内や利用団体の情報発信利用を促進。
- 2) **利用者懇談会**：利用者との意見交換を行い、運営サービスに反映する。
- 3) **地域文化資産のデータベース化**：街のアドバイザーをはじめとする港南区文化資産の閲覧検索システムの構築。今年度より運用を開始。

その他

- 1) **ボランティアスタッフ公募**：事業実施（レセプション）、運営サポート（レセプションサポート）業務に携わるボランティアスタッフを組織化。
- 2) **ALL 上大岡計画**：域内企業団体と連携し、広報宣伝、事業企画を上大岡全体として発信するための環境整備。

団体名

京急グループ共同企業体

【平成 27 年度文化事業の企画】

事業種別	企画名	企画概要	時期・期間	経費見込み（千円）
1	区民公募企画 （講座）	音楽ワークショップ 受講料で自主運営 全 10 回	通年 3 ヶ月	参加料を充当 合計 0
2	ひまわり通信	区文情報誌	通年 月 1 回	合計 1,200
2	ホームページ運営	区文HP 事業提案等の双方向性を確保	通年（月 1 回更新）	合計 180
2	各種情報発信	アドボード・アド TV での情報発信	通年 逐次	合計 2,000
2	データベース構築	港南文化等の文化資産調査	通年	合計 500
3・5	アウトリーチ	出張公演、制作協力、技術協力 逐次	通年	合計 60
3・5	利用者懇談会	利用団体・関係者との意見交換会 全 2 回	通年 各 1 日	合計 50
4	オアシスコンサート	クラシック音楽 全 8 回	通年 各 1 日	合計 1,007
4	ひまわり紀行 ～日本の心～	シリーズ企画・日本文化シリーズ 邦楽・大衆文化・朗読・童謡 全 2 回	通年 各 1 日	合計 621
4	ひまわりフェスタ	体験ワークショップ 地域作業所展示会	夏 1 日	合計 1030
4	WelcomeKids	ファミリーコンサート 偶数月 全 6 回	通年 各 1 日	合計 873
4	4.5 シアター	鑑賞・体験・創造ワークショップ 奇数月 全 6 回	通年 各 1 日	合計 618
4	区民協働企画	7 月こどもミーツオーケストラ 9 月楽器ワークショップ発表会 1 月区民オペラ 全 1 回（練習会 20 回） 3 月 KSDC 全 1 回（実行委員会 10 ヶ月 7 回）	通年 各 1 日 KSDC 2 日	合計 3,786
4	その他企画	7 月シネオペラ 8 月手話ミュージカル 12 月クリスマスコンサート	通年 各 1 日	合計 1,859
5	運営協議会	地域・文化団体による区文運営協議を通して 交流を図る場	通年 1 回	合計 0

■事業種別

- ①文化活動のための施設の提供、②文化活動に関する情報の提供、③文化活動に関する事業の相談、④文化事業の企画及び実施、⑤その他センターの設置の目的を達するために必要な事業。

団体名

京急グループ共同企業体

施設運営の方針

開館時間及び休館日、勤務シフトの考え方

開館時間及び休館日

開館時間の設定

- (1) 複合施設のセキュリティから現体制を基本時間とする。
9時～22時とする。
- (2) 可動席設置時間は、基本時間外とし、利用者の利便性を向上させる。

基本時間外・時間延長対応

- (1) 23時から7時までの使用はセキュリティ上不可能です。それ以外の時間については、ビル管理組合と調整し可能な限り対応します。
- (2) 費用は、各区分の1時間分×1.25＝1時間分費用とし、別途深夜早朝スタッフ交通費もしくは宿泊費を実費で頂戴する事があります。
- (3) 基本時間内の各区分からの延長は、次コマが空いている場合に対応します。
- (4) 費用は、各区分の1時間分×1.25＝1時間単価とします。

休館日

- (1) 設備機器保守点検、定期清掃により、月1回程度を要します。利用者の利便性と保守業者の工程管理計画策定を考慮して毎月第3水曜日を休館日とし、ビル全体の電気設備点検と併せ実施します。
- (2) 保守点検日を利用し、カルチャースタッフを含めた全職員を対象にした避難誘導訓練・接客研修・個人情報教育・意見交換会を実施します。

勤務シフトの考え方

勤務体制

- (1) 職員等（館長・副館長含む）の基本労働時間は、8時30分から17時30分・13時30分から22時30分の2交代制とし、8.5時間の労働時間と致します。8時30分からの勤務により、エスカレーターの作動点検や施設全体の目視点検を行い、お客様を迎える準備を致します。
- (2) 終業時間については、閉館作業、2交代制のための事務引き継ぎ等を考慮し閉館時間後30分を原則とします。
- (3) カルチャースタッフは、午前・午後・夜間の3交代制の勤務体制を継続いたします。
- (4) 舞台技術スタッフの基本勤務体制は、本番がある場合は舞台・照明・音響担当者各1名を配置して対応しますが、練習等の軽易な催物については、1～2名で対応し経費削減に努めます。

労働基準法の遵守

- (1) 就業規則や労働契約に基づき、適切な労働環境を整備し、全スタッフの適切な労務管理と労働基準法を遵守いたします。
- (2) 全日利用者の利便性を考慮し、舞台技術スタッフの労働時間については変形労働時間制を採用し、労務担当を置き、厳正に管理運用して参ります。

団体名

京急グループ共同企業体

施設運営の方針

開館時間及び休館日、勤務シフトの考え方

多様なニーズに対応する柔軟なシフト

- (1) 多様な形態を持つ複数の施設を抱える区文の運営は多様な利用者ニーズがあり、柔軟な体制作りで対応して参ります。
- (2) 特に利用者の多いと想定される午後に対応した人員配置計画策定のために、技術管理職員にも対応可能な人材を配置し、効率的な勤務体制を確立致します。

随時増員体制

- (1) 稼働率、内容によって大きく変動する技術管理は、過不足ない体制を構築し、技術管理職員の常駐を可能とします。
- (2) 業務内容によって増員が必要な場合は、随時増員し、また職員の不測の事態に対応するバックアップ体制を完備いたします。

基本日勤シフト

	8:30	9:00	13:00	18:00	22:30	
館長		●	●	●		9:00～18:00
副館長・職員	●	●	●	●		8:30～17:30 / 2名 客席セット時15分前倒し 14:00～22:30 / 1名
技術管理要員	●	●	●	●		8:30～17:30 / 1名 客席セット時15分前倒し 14:00～22:30 / 1名
サービス カルチャースタッフ		●	●	●	●	8:50～13:00 / 2名 12:50～18:00 / 2名 17:50～22:00 / 2名
設備管理要員	●	●	●	●	●	開館時間内必要常駐 主清掃は開館前に実施

団体名

京急グループ共同企業体